安全鋼板(ガード鋼板) フックボルト S5430M FB S5420M 他

取付け方法

図 1

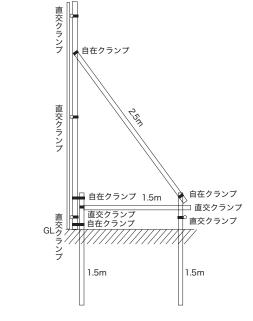
- 1. 捨てパイプ埋込み。(図 1)
- 2. 柱パイプ及び横パイプ取付け。(図 2、3、4)
- 3. 補助パイプ、流しパイプおよびつなぎパイ プ取付け。安全鋼板にフックボルトを取り 付け。(図2、3)
- 4. 安全鋼板を柱枠組に掛ける。(図4)

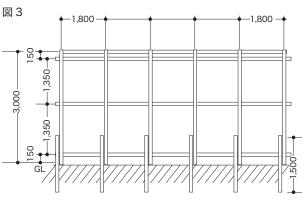
参考資料

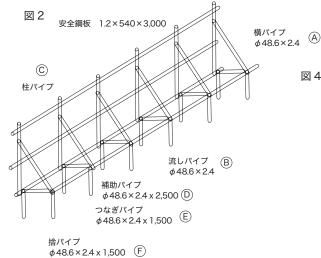
部材明細表 (約 10m 当り) 標準的な工事例

	H=3m	H=2m			
安全鋼板 S5430M	19				
安全鋼板 S5420M		19			
フックボルト	114	76			
パイプ A 5.0m 横パイプ	6	4			
パイプ B 5.0m 流しパイプ	2				
パイプC 3 プ	6				
パイプ C 2.0m 柱パイプ		6			
パイプ D 2.5m 補助パイプ	6				
パイプ D 1.5m 補助パイプ		6			
パイプE 1.5m つなぎパイプ	6				
パイプE 1.0m つなぎパイプ		6			
パイプ F 1.5m 捨てパイプ	12				
ボンジョイント	4	3			
(兼用) 直交クランプ	36	30			
(兼用) 自在クランプ 24		4			

※数量は囲い強度を保証するものではありません。







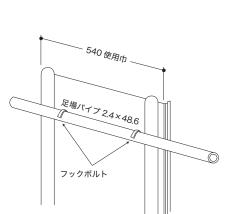
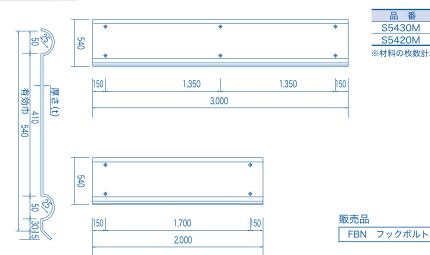


図 4

仮囲万能板



品 番	質量(kg)	模様
S5430M	17.9	無地
S5420M	12.0	無地

アドフラット

アドフラットは、工事現場とその周辺環境を考え開発された、今、最も美しい仮囲いパネルです。また、 美観のみにとどまらず、これまで積み重ねられてきた実績から、あらゆる機能が従来の鋼板よりも高められ ていることが証明されています。

■特長

- ・凹凸がなく、真っ白なアドフラットホワイトを使用することで、 工事現場と環境との美しい調和を実現させることができます。
- ・強度は従来の鋼板と同等に設計されており、連結部においては、 すき間ができることのないクランク構造になっています。
- ・表面の金具をなくし、外側からはずせない構造を実現したこと で、従来の鋼板が抱えていた防犯上の問題点を解決しました。
- ・表面をフラットにしたことにより、通行中の方々の衣類や身体 の一部をひっかける心配がなくなりました。

■メリット

- ・アドフラットは取付け方法が簡単で、 作業効率が大幅にアップします。
- ・出荷段階で焼付け塗装済みであるた め、現場塗装の手間が省け、コストパ フォーマンスにも優れています。
- ・白く焼き付け塗装された表面は、錆び にくく、その美しさを保つことが出来 ます。



Jフック



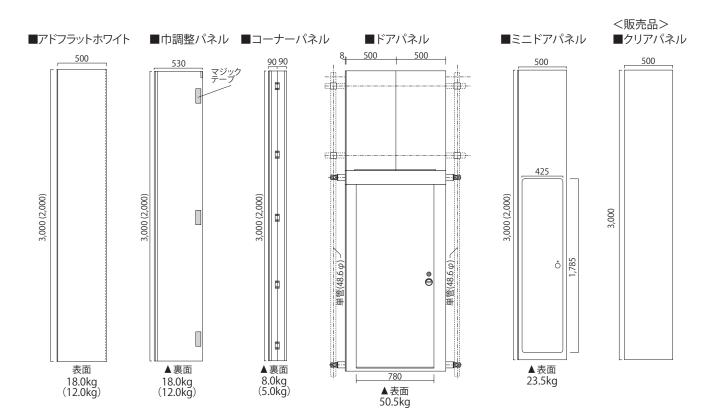
アドフラットの裏端部 付けます。



巾調整パネル・コーナー にひっかけ、単管をま パネルを取付ける際に たがせてボルトで締め 使用します。この金具 す。アドフラットと巾 でアドフラットにしつ 調整パネルの下部を固 かり固定させます。



巾調整パネルを取付け る際に使用する金具で 定させます。



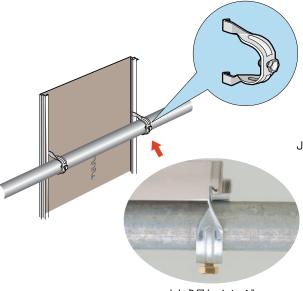
アドフラット取り扱い説明

アドフラット (J フック) の使用方法

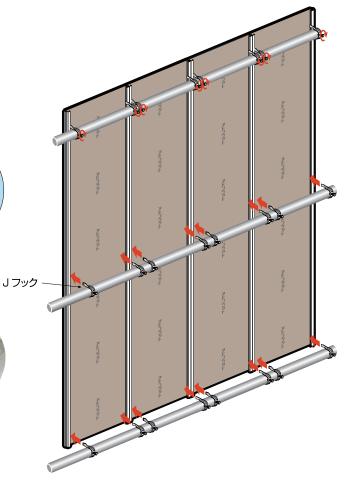
- 1.Jフックを単管にまたがせ、アドフラット裏端部に 爪を引っ掛けます。
- 2. Jフックのボルトを締め、アドフラットを単管に 固定します。



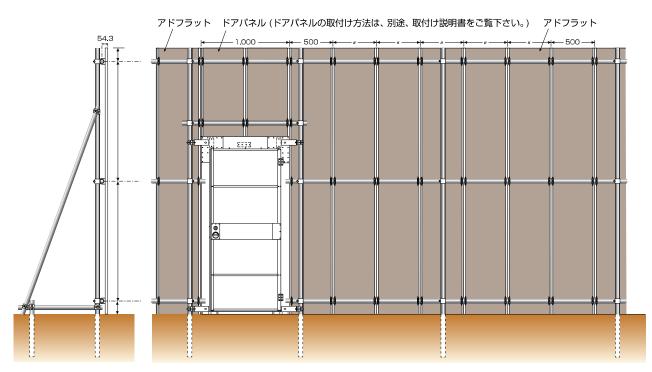


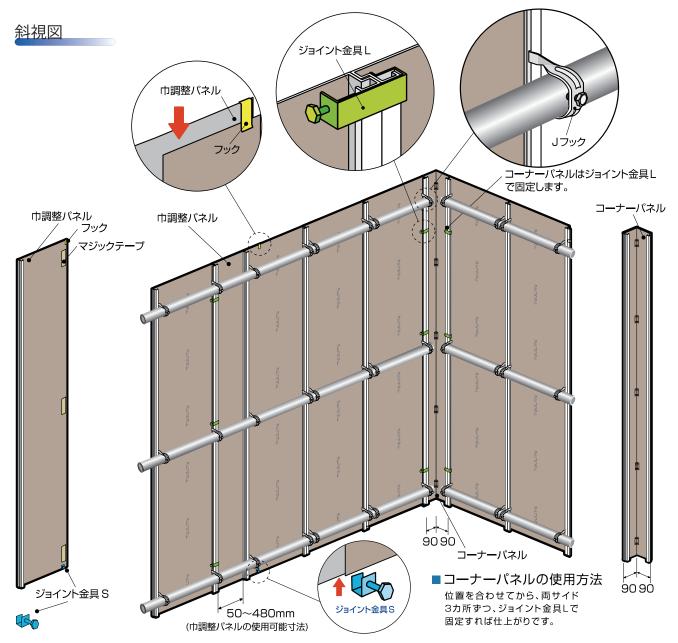




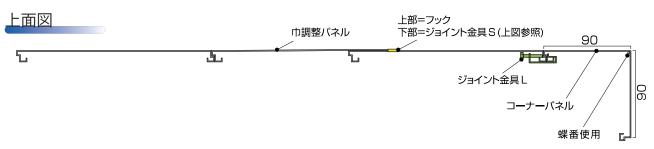


■取付け例:イメージ図





※アドフラット設置の際には天地逆にならない様にアドフラット裏面の文字「アドフラット」の向きに注意して下さい。



巾調整パネルの使用方法

- ●. 上部フックを隣のパネルにかける。
- ❷. 位置を合わせてジョイント金具Lで隣のパネルと固定
- 3. マジックテープのシートをはがし隣のパネルに巾調整パネルを密着させる。
- ④. 下部をジョイント金具Sで締め付けて仕上がりです。

アドフラット必要金具数量

	窓付パ	アドフラット 窓付パネル 中調整パネル コーナーパネ. クリアパネル		巾調整パネル		
	2m	3m	2m	3m	2m	3m
Jフック	4	6				
ジョイント金具L	·		2	3	4	6
ジョイント金具S			1	1		